

令和5年4月30日

赤穂市教育委員会 様

公益財団法人赤穂市文化とみどり財団
理事長 藤池 俊

令和4年度 赤穂市立海洋科学館の事業報告について

赤穂市立海洋科学館指定管理者管理運営基準に基づき、令和4年度管理委託に係る事業について別紙のとおり報告いたします。



海洋科学館（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

開館日数 306日

区分	常設展			特別展			合計		
	入館料(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館料(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	
個人	大人 200	7,299	1,459,800	大人 300	1,473	441,900	8,772	1,901,700	
	小中学生 100	1,839	183,900	小中学生 150	644	96,600	2,483	280,500	
団体	大人 160	4,822	771,520	大人 240	925	222,000	5,747	993,520	
	小中学生 80	1,324	105,920	小中学生 120	380	45,600	1,704	151,520	
減	大人 120			大人 180					
	小中学生 60	101	6,060	小中学生 90			101	6,060	
団体	大人 100	388	38,800	大人 150	67	10,050	455	48,850	
	小中学生 50	79	3,950	小中学生 75	13	975	92	4,925	
免	大人 80	41	3,280	大人 120			41	3,280	
	小中学生 40			小中学生 60					
100%	大人 60			大人 90					
	小中学生 30	2	60	小中学生 45			2	60	
特別利用券利用者	大人	860		大人	203		1,063		
	小中学生	1,792		小中学生	402		2,194		
赤穂観光パスポート	大人	2		大人	86		88		
	小中学生			小中学生					
合計	通りやんせ	54	(@120×113) 13,560	通りやんせ	5		59	13,560	
	大人	13,466	2,286,960	大人	2,759	673,950	16,225	2,960,910	
合計	小中学生	5,137	299,890	小中学生	1,439	143,175	6,576	443,065	
	計	18,603	2,586,850	計	4,198	817,125	22,801	3,403,975	

(赤穂観光パスポートの入館料収入は、常設展にまとめて計上した。)

特別展、企画展等の開催

海洋科学館

特別展

期 間 令和4年7月21日(木)～8月31日(水)
名 称 「鉱物だいすき みんな集まれ！」
内 容 人と自然の博物館所蔵の鉱物化石コレクションと地元の石好き同好会”赤穂鉱物化石探査会“が採取収集した鉱物化石コレクションのコラボ展示。大地が作り上げた芸術品のような石を楽しんでいただく。
入館者数 4,198人
塩の国 塩田案内人(ボランティア)による案内 延べ61回

科学館の指導普及事業

(1) 運営協力会の開催

委員数 15名
開催日 第1回 令和4年5月7日(土)
第2回 令和4年7月30日(土)
第3回 令和5年2月18日(土)

(2) 科学教室の開催

名 称 「子ども科学教室」
内 容

	テ ー マ	開 催 日 時
第1回	開講式・塩づくり体験・梅干しから白い塩をとり出そう	6月11日(土) 9:00～12:00
第2回	魚のからだのつくりと食べ物を観察しよう・微生物を観察しよう	7月2日(土) 9:00～12:00
第3回	施設見学(倉敷科学センター・倉敷市立自然史博物館)	9月10日(土) 8:10～16:00
第4回	植物のからだのつくり・葉脈標本をつくろう	11月12日(土) 9:00～12:00
第5回	天体観測会	11月26日(土) 17:30～20:00
第6回	バードウォッチング	1月14日(土) 9:00～12:00
第7回	ペットボトルロケットを飛ばそう・閉講式	2月18日(土) 9:00～12:00

指導者 海洋科学館運営協力会委員
参加者 市内小学4年生～6年生 25名

(3) 夏屋台実験教室の開催

名 称 「サイエンス寺子屋」

開催日 7月31日(日)

内 容

NO	ブース(屋台)名
1	日時計
2	クリップモーター
3	ピチピチ魚(関西福祉大学)
4	アンモナイトを作ろう(ゆめはく)
5	葉脈標本
6	サポートコーナー

スタッフ 海洋科学館運営協力会委員

協 力 兵庫県立人と自然の博物館、関西福祉大学生、兵庫県立赤穂高等学校生徒

参加者 市内小学4年生～6年生 53名

赤穂市立海洋科学館の管理運営に関する業務の収支決算書
(令和4年度分)

(単位:円)

収 入

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
海洋科学館管理収入	18,730,000	17,498,665	1,231,335	海洋科学館管理収入
施設利用料収入	3,330,000	3,403,975	△ 73,975	施設利用料収入
合 計	22,060,000	20,902,640	1,157,360	

支 出

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
人件費				
給料手当支出	11,667,000	11,415,512	251,488	職員給 4人
福利厚生費支出	2,114,000	1,954,608	159,392	社会保険料外
小 計	13,781,000	13,370,120	410,880	
物件費				
旅費交通費支出	27,000	26,600	400	旅費
消耗品費支出	331,777	326,242	5,535	特別展消耗品外
燃料費支出	50,000	37,560	12,440	ガソリン代
会議費支出	3,000	1,265	1,735	来客賄
印刷製本費支出	216,630	213,092	3,538	特別展ポスター印刷外
光熱水費支出	3,400,000	2,763,561	636,439	電気代外
修繕費支出	551,870	551,870	0	雨漏り補修外
飼料費支出	20,000	12,104	7,896	展示用魚餌代
通信運搬費支出	219,723	219,723	0	電話料外
保険料支出	66,000	60,210	5,790	自動車損害保険料外
広告料支出	20,000	20,000	0	特別展チラシデザイン料
委託料支出	2,644,000	2,640,612	3,388	清掃管理業務委託 1,079,100 展示備品管理業務委託 435,600 建物管理業務委託外 1,125,912
使用料賃借料支出	691,000	634,949	56,051	複写機使用料外
消耗什器備品費支出	13,000	0	13,000	
負担金支出	20,000	20,000	0	兵庫県博物館協会負担金外
雑費支出	5,000	4,732	268	諸雑費
小 計	8,279,000	7,532,520	746,480	
合 計	22,060,000	20,902,640	1,157,360	

赤穂市立海洋科学館指定管理者自主事業収支決算書
(令和4年度分)

(単位:円)

収入

項目	予 算	決 算	差 引	内 訳
科学館指導普及事業収入	80,000	100,000	△ 20,000	子ども科学教室参加負担金
赤穂市補助金収入	590,000	531,453	58,547	科学館指導普及事業補助金
合 計	670,000	631,453	38,547	

支出

項目	予 算	決 算	差 引	内 訳
科学館普及啓発事業費				運営協力会事業 135,409 子ども科学教室事業 344,306 夏屋台実験教室 151,738
旅費交通費支出	18,000	17,600	400	旅費
消耗品費支出	116,000	109,376	6,624	教材外
会議費支出	47,600	39,411	8,189	ボランティア賄外
印刷製本費支出	16,400	16,400	0	子ども科学教室記録写真プリント代
通信運搬費支出	11,000	10,568	432	郵便料
保険料支出	17,000	16,998	2	ボランティア保険料外
委託料支出	7,000	0	7,000	
使用料賃借料支出	227,000	226,100	900	移動博物館車「ゆめはく」借上料外
諸謝金支出	210,000	195,000	15,000	講師謝礼
合 計	670,000	631,453	38,547	

令和4年度 指定管理者管理運営事業評価シート

1 評価対象施設

公の施設の名称		赤穂市立海洋科学館				
所在地		赤穂市御崎1894番地4				
指定管理者	団体名	(公財)赤穂市文化とみどり財団		指定期間	開始日	令和3年4月1日
	所在地	赤穂市中広864番地			終了日	令和6年3月31日
選定方法	非公募			評価実施年	指定期間3年のうち2年目	
施設設置目的	海洋科学に関する知識の普及及び啓発を図り、市民の科学教育の向上に資するため					
主な実施事業	(1)海洋科学に関する資料、機器及び装置を収集し、展示し、及び利用に供すること。 (2)海洋科学に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を開催すること。 (3)展示する資料、機器及び装置に関する調査研究すること。 (4)学校その他の関係機関と連絡し、及び協力すること。 (5)前号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事業					

2 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	目標	R3実績	目標	R4実績	目標	R5実績
a	利用者数	人	30,000	20,908	30,000	22,801	30,000	
b	稼働率	%		70		76		

3 指定管理業務にかかる収支状況

区 分		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	
収入計		A	20,613,328	21,534,093	22,470,000
指定管理料			17,174,123	17,498,665	17,010,000
利用料収入		C	2,935,595	3,403,975	4,830,000
自主事業収入			503,610	631,453	630,000
その他			—	—	—
支出計		B	20,613,328	21,534,093	22,470,000
事業費			20,109,718	20,902,640	21,840,000
内、人件費		D	13,449,438	13,370,120	14,070,000
内、再委託料		E	2,747,642	2,640,612	2,642,000
自主事業費			503,610	631,453	630,000
事業収入	A-B	0	0	0	
利用料比率	C/A	14 %	16 %	21 %	
人件費率	D/B	65 %	62 %	63 %	
再委託費比率	E/B	13 %	12 %	12 %	

・支出欄「D・E」は代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。
 ・事業費は、該当年度及び過年度決算を記入する。また、右欄には、次年度予算を記載する。

補足説明	
------	--

4 事業評価

評価区分	評価項目	自己評価	所管評価	
① サービスの履行	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。	B	B
	第三者への委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。	B	B
		外部委託業者に対して協定書等を遵守している。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書等に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行い、情報の共有が図れている。	B	B
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	B	B	
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	B	B	
財務状況	指定管理者の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	B	
総括	①サービスの履行に関する評価	B	B	
② サービスの質	施設管理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用許可、利用料金の徴収、減免、還付等の受付業務を適切に行っている。	B	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。 言葉使い、態度、服装等接客が適切である。	B	B
	事業運営	事業計画に即し、必須事業を実施している。	A	A
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	A	A
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、維持管理を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	A	A
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	A
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
要望、苦情等を整理し、遅延なく市に報告している。		B	B	
事業評価	利用者アンケート調査を実施し、その結果を利用者等に公表している。	B	B	
	利用者の利便性向上を図るため、自己評価を実施し、利用者等に公表している。	B	B	
提案事項	指定管理者の提案事項については、市と協議し、提案のとおり実施している。	B	B	
利用状況	利用者数、稼働率等は、目標に対し妥当な水準である。	B	C	
総括	②サービスの質に関する評価	B	B	
③ 安定性	経理事務	専用の口座等を備え適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	A
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	A	A
	総括	③安定性に関する評価	B	B

所見 (成果、課題等)	【自己評価】 コロナの影響により令和2年度以降入館者は伸び悩んでいるが、11月補正により想定した施設利用料収入はクリアできた。 入館者の増加対策に当たっては、御崎地区の温泉街にリーフレットを配備してもらうなど、赤穂市観光課及び赤穂観光協会との連携を強化しPRに努めたところである。 施設及び機器等設備に関しては老朽化が激しく早急な予算措置が必要である。 施設では雨漏り、天窓の開閉不能が生じており、特に自動ドアについては早急な対応が必要とされるD判定の結果が出ている。 新規の施設整備については、車椅子利用者や高齢者などからエレベーターの設置を望む声が多く早期の実施が必要である。 また設備面では日々の接続に苦心している映像機器、さらには故障時には交換部品が無く、入れ替えが必要な機器が現存している。		
	【所管評価】 新型コロナウイルス感染症の影響で、利用者数が減少している。 兵庫県の対処方針に則った感染症拡大防止対策を講じたうえで、開館し、特別展の開催等利用者増加へ取り組んでいる。 施設の適正管理に努め、利用しやすい施設環境の整備に取り組まれない。 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の取扱いが変更されるが、感染症対策を講じたうえで利用者へ増に向けた施設のPRに努められたい。 また、日本遺産「日本第一」の塩を産したまち播州赤穂の情報発信に力を入れ、塩の国とともにその魅力向上に努められたい。		
前年評価	B	総合評価	B

※評価基準

自己評価・所管評価	A	優良	協定書、仕様書、事業計画書等を遵守し、要求水準より優れている。
	B	良好	協定書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	C	要改善	協定書等に定める要求水準を下まわっており、改善が必要と認められる。
総括	A	優良	評価項目の評価が全てB以上であり、かつAが過半数である。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	評価項目の評価の内、Cが1割以上含まれる。
総合評価	A	優良	自己評価、所管評価の「総括」にCが含まれず、かつAが過半数以上ある。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	自己評価、所管評価の「総括」にCが2つ以上含まれる。